

世の光

日本同盟基督教団

第820号 2019年1月1日

しっかりと組み合わせられ、愛のうちに建てられるのです。
エペソ4章16節



南アフリカ共和国

P.2 教会ルポ

二本松福音の家教会
座間キリスト教会



P.3 理事の声

理事長
廣瀬 薫

P.4 財務部

2018年度教会実状報告

P.5 家庭教育部

「ティーンズの性を考える」
セミナー報告

P.6-7 国内宣教

「聖霊の風よ、吹け」林 明信伝道局長
三重県開拓宣教大会報告
開拓者からの新年の抱負

P.8-9 国内宣教

東北宣教プロジェクト
キャラバン伝道

P.10-11 国外宣教

「あなたと私の国外宣教」
吉持日輪生国外宣教委員長
古川教会を訪ねて

P.12-13 国外宣教

東南アジア教団派遣宣教師 林武志
ブラジルミッションボランティア募集

P.14 人格尊厳委員会

ハラスメントの境目

教団ニュース

P.15 教会と国会委員会

野寺博文 赤羽聖書教会

P.16 青年部

NSD II 報告

恵流

祈禱会へ再び

P.17 教会支援部

町田南キリスト教会

教会ルポ

神の栄光と滅びゆく魂のために

二本松福音の家教会 (東北宣教区 福島県二本松市)

牧師 星沢数也ほしざわかずや

二本松福音の家教会は、1977年8月、中西行一師・美智師による開拓で始まりました。場所は県都福島市の南隣りに位置する二本松市龜谷の県営住宅(中西師宅)から始まり、1990年日本同盟基督教団に加入し、現会堂は2013年3月に二本松市洪川の地に建て上げられ、私たちが夫婦は翌4月に遣わされてきました。2017年7月には、当時東北宣教区担当理事をお迎えして、創立40周年記念礼拝を持たせていただくことができました。

二本松市は安達太良山、智恵子抄、阿武隈川、二本松少年隊、そして玉ようかん等、歴史教と風光明媚が相俟って



二本松福音の家教会

訪れる人の心を惹き付けますが、ここ洪川の地も、ご多分に漏れず根強い因習の地です。

加えて今、私たちの教会は高齢化が進み、教会を支えるメンバー15名の平均年齢は70才となりました。けれど、私たちの教会にはいつも喜びがあり、笑い声が絶えません。年がいくつであろうと教会生活を楽しく送ってほしい、それが私の心からの願いです。

「元旦礼拝」「新春かるた大会」「名画観賞会」「歓迎礼拝」「出張教会お茶会(南相馬市)」「賛美礼拝」「教会ほっとタイム」「クリスマス礼拝」等々、特に「歓迎礼拝」「クリスマス礼拝」は、「40日間連鎖祈禱」をもつて備えます。教会の将来を見据え、神の栄光と滅びゆく魂のために、20人礼拝が何より当面の祈りの課題です。教会員一人一人の賜物にさらに磨きがかかり、因習の地も高齢化も何のその、心からの礼拝をささげ続け、この地で、さらに実を結ばせていただけることを信じ、神さまに期待し、歩み続けたいと願っています。

神様の恩と祈りの答え

座間キリスト教会 (東京宣教区 神奈川県座間市)

牧師 加藤富江かとうとみえ

座間キリスト教会は1984年、加藤富江牧師を通して、日本人、米軍キャンプから来るアメリカ人の家族、韓国人の3カ国の信徒によって構成され、日本人の伝道のために力を合わせて設立されました。一番大変だったことは礼拝をささげる場所を探すことでした。教会家族皆は神さまに私たちの弱さを認め、切に祈りました。神さまは4人で始めた教会を、40名、50名、100名、そして120人に増やしてくださいました。教会の役員や信徒が祈りをささげ、神さまの奇跡的な回答を受け、銀行から融資許可が下り、30坪の土地を購入しました。しかし、2011年に日本を襲った津波と、イラク戦争で、米軍キャンプの信徒たちが日本を離れ始め、教会にも経済的な津波が襲うようになりました。私たちの力では何もできませんでした。銀行に教会の建物が移る危機まで訪れました。

けれども、日本人伝道を諦めることはできなかったため、役員とすべての信徒たちは、神さまの前に断食して涙で祈

りながら神さまの助けの手を切に求めました。神様の恩恵と答えは、考えた事もなかったところから送られた献金3千万円の助けの手でした。神さまは座間キリスト教会を通じて働き、神さまの恩恵は座間キリスト教会に大きな慰めと力をくださいました。

また、もう一方の4千万円の献金を通じて、4年前に社会福祉法人(泉ぶどう園)を設立し、精神障がい者の方たちに仕えています。感謝なことは、ここを通じて一家が礼拝し、神さまを迎え、全員が洗礼を受けるようになったことです。

座間キリスト教会は来年、銀行の融資の返済がすべて終わります。このすべての事を備えてくださった神さまに感謝いたします。役員や信徒たちが心ひとつとなって日本宣教のために祈っています。教会に精神障がい者の方も少しづつ増えています。座間キリスト教会は日本と東南アジアへの宣教をあきらめず、神さまの恩恵と答えに感謝しながら走り続けます。



理事の声

救霊の情熱



理事長
ひろせ 廣瀬
かおる 薫

「神は、すべての人が救われて、真理を知るようになることを望んでおられます。」

一テモテ2章4節

先日、日本のプロテスタント教会では大きな他教団の方が、「去年の教勢データで、初めて受洗者数が教会数を下回った」と教えてくださいました。つまり、約320の教会数に対して、受洗者数が約310と、教会数を下回ったのは初めてだという危機感を分かち合ってくださいました。その時私は、「日本同盟基督教団も受洗者数は低下傾向にあるが、まだまだ教会数を下回るようではない」と答えました。同盟基督教団の状況は、日本のキリスト教会の中では、ずっと良い方だと思っていたのです。

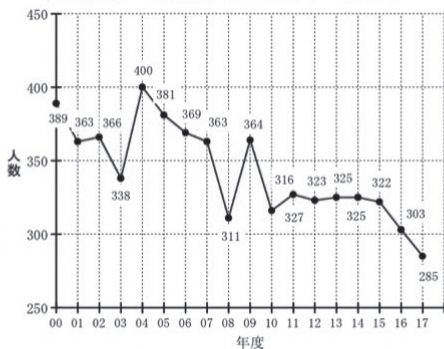
しかし伝道局長にその話を分かち合ったら、すぐにデー

タを送ってくれました。それが文末のグラフです。教会数は239、受洗者数は285です。400を超えていた頃（その頃の教会数は今より少なかった）から、長期下降傾向にあります。昔のギャグに、「人の振り見て我が振り直せ」をもじって「人の不利見て我が不利忘る」というのがあったのを思い出しました。このグラフを延長すれば、受洗者数が教会数を下回るのは、正に我が事だったので。戦後、日本の教会は「一千万救霊」を掲げていた時代がありました。今、同盟基督教団は「二億二千万宣教」を掲げています。「救霊」の数字ではなく「宣教」が普く行き渡ることを掲げているのは、全く聖書的です。同盟基督教団の「宣教協力理念」3-5に、「宣教の目的は、全ての人に福音を伝え、主イエス・キリストの救いにあずかった人々によって教会を形成し、神の国の完成を目指して、伝道と社会的責任を果たすことである」とあるのは的を射ています。

しかしだからといって、「救霊」の実を度外視してよいわけではありません。聖書は、父なる神さまは「すべての人が救われて、真理を知るようになることを望んでおられます」と教えているからです。今、日本のクリスチャン人口は、減少に転じてつづきます。それでいいのだ、とか、現実にそうであるのは仕方がないので、減少に合わせる教会の統廃合や閉鎖の対処を用意すべきだという意見がキリスト教会内に広くあります。しかしむしろ、「救霊」の停滞は主のみどころにかなわない状況なのだと思いたいです。

私たちが大切に継承共有している「フランソン精神」（「宣教協力理念」4-8）の(2)は「未伝地に向かった救霊の情熱」です。私たちはこの新年を、「救霊の情熱」に満たされてスタートしましょう。例えば昨年今年、鹿児島県、三重県、徳島県と、次々開拓伝道が進展しています。その前線で担われている「救霊の情熱」を共有したいのです。今年、青年宣教大会も開催されます。「救霊」を、それが主のみどころにかなうことであるがゆえに、共に祈り求めて行きま

受洗者数・年度別グラフ2000年～2017年



しょう。現実の傾向に悲観や諦観を抱くよりも、みどころが指し示す方向に自らの目指す方向を合わせたいと願います。みどころにかなう祈りは、主ご自身によって必ず答えられます。私たちにはできなくても、「私を強くしてくださいる方によって、私はどんなことでもできるので」（ピリピ4章13節）とある通りです。私たちが誰でもまですることができるのは、みどころにかなわない現状を見て、自らの不足を悔い改めることです。主は「救霊」の実現を用意してくださいています。そこに私たちが用いられて喜びを経験することを期待しつつ、一年の歩みを信仰をもって始めようと思えます。

財務部

「2018年度教会実状報告書」について

財務部だより その7

財務部長

古川弘幸ふるかわひろゆき

私たちの教団では、毎年1月に全所属教会から、前年の教勢と財務状況を「教会実状報告書」にまとめて報告していただいています。財務部と教団事務所では、その報告書を基に教団全体の統計資料を作成し、教団総会に提出しています。この統計資料は教団運営の数的な指針として、重要な役割を果たしています。今回も期日までの提出をよろしく願います。なお、昨年の報告書から、表計算ソフト「エクセル」のデータをメールに添付して、提出していただくようになっていきます。専用のエクセル用フォーマットは、教団ホームページからダウンロードできますのでぜひご利用ください。

(天竜キリスト福音教会牧師)

2018年度「教会実状報告書」作成メニュー画面

エクセル版、Microsoft Excel 97以降のバージョンに対応しています。

A

教勢報告
作成画面へ



教勢報告の作成には、このボタンを押してください。

B

財務報告
作成画面へ



財務報告の作成には、このボタンを押してください。

C

不動産報告
作成画面へ



不動産報告の作成には、このボタンを押してください。

D

教会借入金・各種積立金報告
作成画面へ



教会借入金・各種積立金報告の作成には、このボタンを押してください。

連続印刷の方法



両面印刷あるいは、A3見開き印刷を行うときは、このボタンを押して手順を確認してください。

「ティーンズの性を考える」 セミナー関東実施報告



家庭教育部

家庭教育部員 柿島文人

11月3日土曜日、好天に恵まれて家庭教育部第二回親子セミナー「ティーンズの性を考える」が開催されました。会場は招待キリスト教会でした。主日の備え日を献げて会場その他のご奉仕を快く引き受けてくださった趙先生はじめ兄弟姉妹に心から感謝いたします。

参加者は教団内28教会から92名、教団外10名、スタッフを加えて合計108名でした。部会の予想を上回る参加に感謝しました。

このセミナーは既に台湾のキリスト教会で行われている性教育プログラムを紹介し、日本でも活用するための講習会でもありました。午前10時半に開会、講師の齋藤千恵子先生からのイ



ントロダクションで始まり、11時10分にレッスン1、最後のレッスン8は午後4時40分過ぎに終了、5時に閉会という過密スケジュールでした。参加者は、長時間に及ぶ学びも積極的に受けていました。またレッスン中、12歳という設定の模擬体験など工夫が凝らしてあるプログラムを通して、理解を深めることができた様子でした。

性は神さまが創造されたときより大切なもの。この理解が自分や他の人を理解し大切することにつながるかと改めて教えられました。

既に各個教会、宣教区でセミナー開催の要望が出ています。セミナー開催に関しては齋藤千恵子先生に直接、お問い合わせください。

(恋が窪キリスト教会牧師)

参加者の声

・間島直之(多磨教会牧師)

人間は神の手によって造られた貴い存在。男女は神の秩序の中で互いに敬い、愛し合うように造られた。クリスチャンなら知っているこの真理が、性をめぐって混乱する現代に生きる子どもたちに何より必要。このことを確信させられた素晴らしい学びでした。

・招待キリスト教会員

「私達は、人の目から見た自分で自身を評価する世の中を歩んでいます。しかしたとえ難しい状況にあっても自分の価値を神様にあつてきちんと認めることのできる子供たちを育ていくことが、大切な一歩だと思えました。」

「本当の愛に出会う・守り育てる順序、自分を守る方法を学ぶことができました。教わらなければわからないし、被害に遭えば秘め事として後の人格形成に影響を及ぼしかねないので教会でも伝えていきたいと思えました。」

《信教の自由セミナー》

「教会と国家」委員会主催

・関東地区集会

日時 2019年2月11日(月)

10時半から12時半

会場 中野教会

講師 木村庸五さん(弁護士)

テーマ 「150年にわたるヤ

スクニ・天皇制の呪縛からの解

放と私たちの信仰―緊迫する憲

法状況・政治状況の中で―

スリッパをご持参ください。

・関西地区集会

日時 2019年2月11日(月)

午後2時から午後4時

会場 茨木聖書教会

講師 奥野泰孝さん(大阪府立

支援学校教員、単立芦屋福音教

会会員)

聞き手 青木有加さん(弁護士、

「教会と国家」委員)

テーマ 「憲法20条と天皇制、

そして憲法9条と学校」

※当日は席上献金があります

※お問い合わせ

関東 090(8560)

4557(椎名町教会 小林)

関西 0743(54)

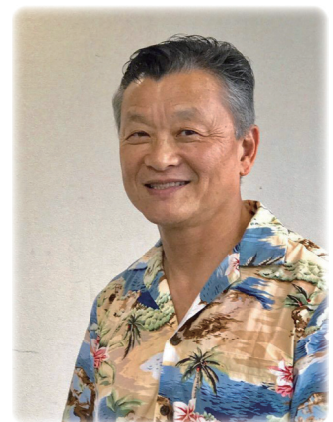
6830(大和郡山めぐみ教

会 正村)

No.200
国内宣 教

聖 霊 の 風 よ、 吹 け

理事・伝道局長 **林** はやし
明信 あきのぶ



「風は思いのままに吹きます。その音を聞いても、それがどこから来てどこへ行くのか分かりません。御霊によって生まれた者もみな、それと同じです。」
(ヨハネ3章8節)

沖縄で二回目の冬を迎えています。内地から引越した私に、うちなーんちゅ(※)の人は「沖縄といっても冬は寒いよ、風も強いしね」と言い、気温が15度を下回ると「極寒だ」と大騒ぎします。これまでには耳のちぎれそうな氷点下の強風も経験している島ないちゃー(※)の私には沖縄では冬の風も心地良い程度ですが、やがて寒い寒いと言うようになるかもしれまんね。

新約聖書は、風のことを pneuma といいますが、聖霊(御霊)のことを表すときも同じ pneuma が用いられています。神様からの霊は風のようにあつて目に見えず、どこから来てどこへ行くのか人には分かりません。真に神様のみこころの通りに働かれます。しかし、その聖霊の力を受けた人はどうなるかという

と、目に見えて新しい生き方ができるようになります。本当の自由が与えられ、感謝と喜びに満たされます。既存の教会もそうです。開拓の教会にはまさにこのことが当てはまります。聖霊の風が吹いてきて、新しく教会に導かれ救われる人が起こされていきます。昨秋から新しい開拓として、鹿児島いざみ教会が始まっています。さらに、

三重県・徳島県での開拓の働き、東北宣教プロジェクトによる教会設立も準備が進められています。ぜひ熱いお祈りと国内宣教献金をお願いいたします。

廣瀬理事長の「理事の声」にもありますように、同盟教団全体の受洗者数は下降を続けており、いまこそ聖霊の風を求める必要があります。私たちを取り巻く社会は、ひからびて物事が硬直し本当の自由を失ってしまっています。人は神さまという存在に無関心で、心を満たすために物とかお金とか情報とかそういうもので空洞を埋めようとし、だんだんと人間も物化していつてしまつて心が縛られた状態になつていくからです。しかし、神さまが吹かせてくださる聖霊の

風を受けるならば、必ず変わっていきます。

新しい年が始まっています。それぞれの新しい歩みや働きの中に、素晴らしい聖霊の風が吹いて来ますようにと願っています。私たちは神さまの聖霊の風を受けるときに、そこに慰めと励ましと導きが与えられ、本当の自由と喜びに満たされていきます。大いなる祝福を期待しつつ共に祈っていきましょう。
(那覇めぐみ教会牧師)

(※)「うちなーんちゅ」「島ないちゃー」は沖縄の言葉で、それぞれ「もともと沖縄の人」「沖縄に移住してきた内地の人」という意味です。(厳密には違う意味合いもあります)

三重県開拓 宣教大会報告

三重県開拓責任者 原田 和典はらだ かずのり

晴天の11月10日浜名湖バイブルキャンプ場を会場に、4回目の三重県開拓宣教大会が開催されました。東海東・西両宣教区から約150名の神の家族が集いました。

11時半から鶴木シェフ（管理人）とワーカーによる、心のこもったランチバイキングを暖かな交わりの中80名程でいただきました。

午後1時からさらに参加者が集い、静岡めぐみ教会の賛美リードに続いて、全志碩（ジョン・ジソク）開拓協働者の準備報告がされました。今年は東海東宣教区内12教会を家族6人で礼拝に参加しながら巡回させていただきました。参加者から「三重県開拓が目に見えるようになった！」との感想をお聞きしています。教会開拓の拠点探しは難航していますが、三重県北部の实地調査と、教派を越えた牧師との交わりを通して、少しずつ幻が見え始めています。



開拓準備報告をする全志碩開拓協働者

浜松中沢教会の特別賛美に続いて、廣瀬薫教団理事長より「主の道を用意せよ」と題しマルコ1章1〜3節から語られた宣教メッセージに一同心を熱くしました。三重県開拓がみ旨になった世界宣教の業であることを確信し、各々が自分の献身であることを確かめ、霊的喜びが満ちあふれました。

最後に、参加された牧師により全志碩協働者ご家族の祝福を祈って頂き、参加者全員で宣教の進展、み旨にかなった拠点が与えられるようにと祈りました。別れが惜しくなるような一体感を感じた大会でした。

（知立キリスト教会牧師）

開拓者からの新年の抱負

「地域に根ざす糸口を」

山形恵みキリスト教会
吉持 尽主よしもち つくす

これまでの歩みで山形の地域のことを段々と知ることができています。また、神様は教会に多くの方を送ってください、多くの新しい人との関わりが与えられています。2019年はその与えられている方々との関係を大切にし、さらに地域との繋がる糸口を模索していきたいです。

「主の恵みによって」

宮崎めぐみ聖書教会
金 桓基きむら ぶんぎ

新年明けましておめでとうございませう。日々の尊いお祈りとご支援に心から感謝いたします。この年、祈りの課題としたことは、教会の霊的成長と経済的に自立していくことです。そして伝道の門が開かれるように、どうぞ、続けてお祈りをお願いいたします。2019年も皆様の信仰と歩みが祝されますように。

「新たな出発を目指して」

光の森聖書教会
斐 東烈へい とんりやう

2019年5月には新会堂の完成を迎える幸いに与りたいです。そして、洗礼に導かれる方々が多く起こされるように、信徒の皆様がみことばと聖霊に満たされ、主に喜ばれる教会形成に励んでいきたいです。

これからも、皆様の尊いお祈りとご支援をよろしくお願いいたします。

「鹿児島開拓2年目！」

鹿児島いずみ教会
瓜生 和彦うりゆう かずひこ

昨年は2名の方との学び会が行われました。今年はその方々が洗礼へと導かれますように。礼拝にも学び会にも新たな方が起こされるように願っております。2019年も鹿児島島の地でイエスさまを救い主と信じる方が多く起こされますよう、主の大宣教命令に従って励んでまいります。

東北宣教プロジェクト NEWS No.19

この岩の上に

東北宣教プロジェクト委員

あきやまよしひさ
秋山善久

第二種教会に向けて

グレイス・ハウスは、これまで各地から集まってくる支援者の拠点として用いられてきました。ここが教団の第二種教会となれるよう準備が進められています。正式名称はグレイスハウス教会の予定です。

プロジェクト委員会では、当初から支援活動と宣教の関係を話し合ってきました。教会の業としての支援であるためです。そうした中で、グレイス・ハウスが教会であるということ、内外に明確にすべきと判断しました。これは宣教区会議でも承認されています。

現地の様子

震災のとき、瓦礫の山と化した大船渡駅周辺は、7年余の年月を経て近代的な街として生まれ変わっています。震災の犠牲が風化しないようにと、大船渡



台湾チームのクリスマスコンサート
大船渡ショッピングセンターにて

防災観光交流センターの一角に津波伝承館があります。けれども、狭い道を行き交う工事車両は絶えることがなく、復興住宅では新たな問題が顕在化しています。

現地リーダーの齋藤師は、そうした声を受け止めながら、多くの協力者と共に福音のあかしを続けてきました。被災者からの求めは、これからも減ることはないでしょう。そこに主の愛をもって寄り添うことは、傷ついた人たちの心を癒し、明日に向かって生きる励ましになるに

違いありません。

主の声に聴く

主イエスは「わたしはこの岩の上に、わたしの教会を建てます」(マタイ16章18節)と言われました。ですから教会であるということは、「生ける神の子キリスト」という告白の上に為される業でなければなりません。たとえ切迫した人々の求めがあったとしても、この点がぶれてしまつては、教会の足元が掬われてしまいます。

教会は、羊飼いである主の声を聴き続け、その声の上に立つて業を為すところです。教会でしかアプローチできない領域があります。反対に、教会の看板を負って踏み込んではいらないところもある。

被災支援では、そうした難しい課題と判断があることをご理解ください。大変であればこそ、皆さまの一層のお祈りとご協力をお願いします。

(仙台のぞみ教会牧師)

【祈る】

来年度の教会設立を目指しています。グレイスハウス近隣の方、関わりある方から主を求める人々が起こされるように。

【送る】

訪問用、小集会用のお菓子を随時募集しています。賞味期限の長いもの、少しずつ使える個包装のもの、お住まいの土地の名物など少量からの贈り物をお待ちしています。

【参加する】

現地への宣教チームにぜひご参加ください。お一人で、青年で、壮年部・女性部で、夫婦で、家族で、教会で、宣教区でなどいずれも歓迎いたします。

【献げる】

昨年もみなさまから献金を賜り感謝します。震災から9年目、プロジェクト開始から5年目となる本年も続けておさげくださいますようお願いいたします。



キャラバン伝道

感謝の証し

「祝された山形キャラバン」

きたむらかずお
北郷和雄

初日、2日目と「ジョイキッズ」に向けて下校する子ども達にチラシを配りました。子ども達のキラキラ輝く瞳を見ていると、伝道の働きに身の引き締まる思いでした。祈り、待ち望んだ当日。14名の子どもたちと数名の保護者が来会。楽しいひとときを過ごしました。充実の4日間は主の祝福で満たされました。(松原聖書教会員)

「帰りたくなる

光の森キャラバン」

ほそや
細谷クララ

4回目光の森キャラバン。会堂へ入った時、ただいまと言いたくなる。日曜日の愛餐会にて、「ベー先生たちが好きでこの教会に通っています」と話される婦人。ベー先生が「私たちは家族です」と言い教会の皆に心から仕える姿より愛を感じたとのこと。それがイエスさまの愛



だということ
は言うまでも
なく、その言
葉に共感した。
これからもこ
の教会に帰り
続ける人が与
えられるよう
に。(愛媛めぐみ教会員)

「高松キャラバン」

わたなべ
渡邊まなか

高松で同じ主を見上げて生きる方々と出会い、隊員も励まされ、交わりの豊かさを味わいました。2千部のトラクト配布や子ども集会とおして、キャラバン中の早天祈禱会で語られた「この町には、わたしの民がたくさんいるのだから。」のみことばが心に留まりました。高松にも、自分が置かれている場所にも、神



の民はたくさん与えられるという希望を与えられました。(徳丸町キリスト教会員)

「鹿児島での恵み」

よしだみのる
吉田稔

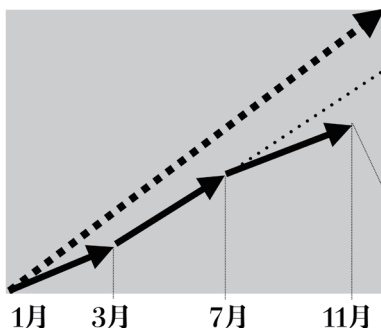
9月に開所した教会で、現地の様子を見、開拓の働きに携る事が出来て感謝です。地域に教会の存在を知っていただく為に計8千枚のトラクトを主が用いて下さることを願ひ投函しました。城山公園の雄大な桜島に感動。礼拝で賛美した「御手の中で」が心に残ります。教会と同一年の愛娘恵伝ちゃんの成長を大いに期待し祈ります。(松原聖書教会員)



国内宣教の年間予算 2575万円

昨年度も、皆様より心からのご支援を感謝いたします。教団国内宣教はすべて皆様「国内宣教献金」によって進められています。昨年は、鹿児島いずみ教会がスタートし、救われる魂も起こされました。新しい年も、国内宣教の喜びを共にすることができたらと願っています。年間予算2575万円が満たされ「全県に同盟の教会」が建てられ、魂が救われ、「点から線へ・線から面へ」と日本全土が福音化されるよう、熱き祈りご支援(一人500円/月)を、よろしくお願致します。

累計 17,746,639円
(11月末 全体の達成率は69%)
※ご支援くださった教会は216教会でした!



さんりくツイート@tohoku_project 2019

「干し柿」@ やってみたかった干し柿作り。大家さん宅の「柿拾いの日」に参加させていただき、ご厚意でその一部を頂いた。持ち帰った渋柿を、夫と「何だか美味しそう」と試食。「…!!」(悶絶)。縁側に干された可愛い「子どもたち」を眺めながら食べごろを待つ日々。彼ら(ISHIKA)*世の光12月号、p.15参照)に食べられないように警戒しなから…。齋藤真理枝

さんりくツイート
@tohoku_project 2019
Tweets 10
Following 1
Followers 120

255 11388

御国のこの福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての民族に証しされ、それから終わりが来ます。マタイ 24:14

No.428
国外宣教

あなたと私の国外宣教



国外宣教委員長

よしもち 吉持
ひわお 日輪生

「それから、イエスは彼らに言われた。『全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。』」
マルコの福音書 16章15節

あなたの教会、そしてあなたからの尊い、かつ精一杯のお祈りと献金を心から感謝いたします。

けれども、この文章を執筆している時点で国外宣教会計は、約500万円の赤字が、予想されています。

そのことを国外宣教委委員会は、あなたの教会、あなたからの献金が足りないとは考えないようになっています。

私たちひとりひとりの祈りの

不足、国外宣教のことを考え、知恵を出し合うことの不足、宣教地に遣わされている宣教師ご夫妻とご家族のことを思い巡らす時間の不足と考えています。

なぜなら私たちが目指す国外宣教は、教団に属するひとりひとりの働きだからです。教団の一部の人たちの働き、国外宣教委委員や、国外宣教に関心や、重荷のある方々や、宣教師に召された限られた方々の働きではないからです。

そのような意味で、2019年も、国外宣教の働きを、あなたの働き、私の働きと位置づけ、祈り、献げ、思い巡らし、様々なご意見、思いを聞かせていた

だきたいと願っています。

そのような国外宣教になるように、私たちの教団は、昨年4月、信仰と祈りをもって、国外宣教総主事として飯田仰先生をたて、またこれまで22年間国外宣教主事の働きを担ってきた原山いずみ先生の後任に、飯田晶子先生をたてました。

国外宣教総主事の飯田仰先生には、16の全宣教区に赴くことと、各宣教地の訪問を昨年4月から取り組んでもらい、これまでに13の宣教区、6箇所の宣教地を訪問しました。

飯田先生からは、宣教区の諸教会諸信徒の方々と顔を合わせ、国外宣教に対する思い、意見に耳を傾けられたことはとても有意義な機会だったと聞いています。

また各宣教地に赴き遣わされている先生方の生活を肌で感じ、宣教地における様々な思いにも耳を傾け、意見を交わし、励まし合い、祈り合う時を持つことができました。

このような国外宣教総主事の働きを通して、宣教地とそこで

労している宣教師ご家族とあなたの距離を、より近いものとすることができればと願っています。

私たちの教団の国外宣教は、これまでもこれからも、あなたの働き、私の働きです。

あなたと私が一緒に祈り、共に話し合い、共に考え、共に献げ、働きを担っていきましょう。

今年もよろしくお願いいたします。

(茨木聖書教会牧師)

国外宣教献金報告 (2018年11月末現在)

↓期待値 91.7%

8,000,240 円 (59.4%)

宣教師指定献金予算 13,450,000 円

期待値 91.7% ↓

31,386,857 円 (72.8%)

収入予算 43,120,700 円※

※収入予算 (45,850,000 円) から積立て金取り崩し分を除いたもの。



古川教会を訪ねて

台湾 教団派遣宣教師

さいとう いそみ ちえこ
齋藤 五十三・千恵子
リーシン
立新教会

11月初旬に北陸飛驒宣教区を宣教報告のために訪ねました。国外宣教師の任命を受けてから16年目ですが、北陸飛驒を訪問するのは初めてで、心に残る出会いがいくつもありません。各教会で温かくお迎えくださいました皆様に、この場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

日程を終えて振り返る時、それぞれの教会の訪問は、いずれも心に残るものとなっています。中でも古川教会のことは、ぜひ書かなければならないと感じています。古川教会は、寺田由弘・シマ子前台湾宣教師を送り出した（1977年）教会であり、しかも、その歴史を自覚しながら、今も国外宣教を祈り支えてくださっている兄弟姉妹の存在があることが深い印象となつて私の胸に残っているからです。

そうした印象は、最初は高橋愛一郎牧師からいただいた一通のメールで始まりました。「古川教会では、寺田先生を台湾へお送りした経緯から台湾宣教に強い関心があります。」こう切

り出しながら高橋師は、当初予定していた午後の報告会に加えて、仕事のある方々が出られるように、前日夜にも報告会を持たないかと打診してこられたのです。これは、同じく台湾宣教を担った私にとって、心に響く一言でした。そのように始まった小さな感動は、実際に飛驒古川を訪ね、寺田宣教師を送り出した歴史を肌で感じ、兄弟姉妹と祈りに心を合わせながら、いよいよ重層的に深まっていくことになりました。

古川では、まるで遠い空を眺めるようにしながら、寺田先生が台湾行きを決意された時の言葉も、今も覚えて語ってくださいる兄弟たちとの出会いがありました。台湾行きを当初は受け止めきれず、教会の台所で泣いておられたシマ子先生の姿を知っている婦人方もおられました。そして、シマ子先生が突然召された時（1995年9月）に、共に涙したことを忘れない兄弟がおられました。加えて、そうした教会の歩みを大事にしながら、14年目の牧会を担っておられる高橋師ご夫妻との交わりも

また幸いな時でした。

私にとっては初めての古川教会訪問でした。しかし、何と形容したらよいのでしょうか。今回の訪問は「やっと会えた」と言うような、不思議な、どこか懐かしい印象さえ残すものでした。私は、その不思議な印象のわけが、今ようやく分かった思いがしています。私は古川教会の皆さんと（寺田先生を通じて）、すでに台湾にいた頃から、祈りの中で出会っていたのです。

50年を越える同盟基督教団の国外宣教を直接担った宣教師たちの足跡は、しばしば記録され、また語られてきたと思います。しかし宣教師たちの背後には、信仰をもって送り出した教会の



古川教会

姿がありました。宣教師の派遣とは、時には痛みをもって送り出すことさえあった、そんな教会や兄弟姉妹の献身でもあったということ、私たちは心に刻んでいきたいと思えます。

宣教師近況・祈祷課題

◆ 齋藤五十三・千恵子（台湾）
東京宣教区、新潟山形宣教区

の新年聖会にて、それぞれ挨拶させていただきます。また一月後半に新潟山形宣教区を訪問し、各教会にて宣教報告の時間をもちます。よろしくお願ひします。

◆ 矢田紫野（モンゴル）

教会の青年たちが地域の10代の青少年伝道を始めました。良い実が結ばれるように。また学習センターも新しい働きを検討中です。続けて子どもたちが主イエスにとどまり、成長していきますようにお祈りください。

◆ 浜田献・陽子（ブラジル）

ブラジリア教会のビジョンが主にあつて示され導かれるように。1月から新学期を迎える4

人の子どもたちの勉学の祝福のために。長男は高校1年生です。救いを待ち望んでいるすべての人に福音の恵みと確かさを証しできるように。

◆河野晃・美千代(タイ・バンコク)
皆様のお祈りに支えられ、クリスマスの奉仕と家族の歩みが守られました。感謝いたします。家族の健康が支えられ、主にあって喜びにあふれた新年を迎えられますように。続くタイ語の学びや奉仕が守られますようにお祈りをお願いいたします。

◆林武志・趙伶俐(東南アジア)
いつも尊いお祈りとご支援に感謝します。新年も何卒よろしくお願いします。最近私は貧しい地区で、学校に行くことのできない3人の子どもたちに勉強を教えています(2人増えました)。子どもたちの学びのため、彼らが学校に行くための手筈がうまく整いますようお願いください。

◆金煥・朴貞玉(南アフリカ)
南アフリカは今、真夏です。去年11月、足立愛の教会の青年(兄弟)がここに来て2週間共に生活しつつ、奉仕と見学をし

ブラジル ミッションボランティア募集

2018年8月のブラジルミッショントリップは、日本からの参加者も現地の教会も浜田宣教師ご家族にとっても、大変大きな恵みと祝福の時となりました。この宣教の恵みと祝福を継続して持ちたいと願い、ブラジルミッションボランティアを計画しました。ミッションボランティアは数カ月の間ブラジリアでの生活を体験しながら、浜田宣教師のもとでブラジリア教会の奉仕に参加することができます。興味のある人は、ぜひ国外宣教委員会にお問い合わせください。しおりと申請書をお送りいたします。

チェック!



ブラジルミッションボランティア募集

目的	浜田宣教師が協力宣教師として奉仕するブラジリア・アライアンス・キリスト宣教教会(以下「ブラジリア教会」と称す)で奉仕する。	宿泊	ブラジリア教会(昼・夕食は浜田宣教師宅)
奉仕期間	2019年8月~11月末 *奉仕期間内(8~11月)であれば、期間は応相談	費用	往復交通費,海外旅行保険料,ビザ取得費用(アメリカ経由の場合 ESTA 取得費用も),食費600レアル/月(*約18,000円),光熱水費200レアル/月(*約6,000円) *いずれも1レアル=30円で換算
派遣人数	1名	申込方法	以下の期限までに必要書類を国外宣教委員会へ提出 2019年4月26日(最終決定6月半ば) →必要書類到着後,14日以内に面接日程調整のための返事 <必要書類>①申請書②救いの証し,ミッションボランティアに導かれた経緯の証し(いずれもA4一枚程度)③所属教会の牧師,役員会の推薦書(フォームは自由)④健康診断書
奉仕内容	日本語学校のお手伝い,日系一世の方への訪問伝道,教会各種集会への参加	連絡先	日本同盟基督教団 国外宣教委員会(飯田国外宣教総主事)メール:kokugai@domei.info
派遣者	所属教会,国外宣教委員会		
資格	受洗1年以上(牧師,役員会の推薦状要),18歳以上で心身ともに健康な者(要健康診断書),日常会話程度の英語力を有する者,自分でビザや航空券などのすべての準備をしてブラジルに行ける人		

教会形成・アジア21、そして世界へ

同盟教団 国外宣教FB

CHANGE YOUR WORLD

国外宣教ホームページ
<https://www.jaws21.com/>
 宣教地の Hot なニュースをお届けしています。宣教師たちのスカイプによる宣教報告も今後ご紹介していく予定です!詳しくは国外宣教委員会まで
kokugai@domei.info

2019 World Mission Calendar
 世界宣教カレンダー

世界宣教カレンダー
 2019 一冊 300円

kokugai@domei.info

ました。将来アフリカを経験したい同じ希望を持っている兄弟姉妹がいるなら、受け入れられる体制の準備が必要だと感じました。2019年活動を開始する年初となりました。主から知恵が与えられ、主の御心に合う計画と実践ができるようお祈りしてください。

◆長谷部愛実(タイ・チェンマイ)はせべあいみ
 皆さまのお祈りとご支援に心より感謝いたします。お祈りいただいておりますように、高齢者が集い続けられる会堂を模索してきました。今月、ご厚意でご提供いただきました場所に、礼拝を献げる試行期間を持ちます。教会が一致し、喜んで礼拝できる会堂が備えられれますよう、引き続きお祈りください。

人格尊厳委員会

シリーズ「ハラスメントの境目」
「はじめに」

人格尊厳委員 ^{おおよぎ}大杉 ^{いたる}至

教団ではセクハラ相談窓口を設置し、セクハラ相談と対応に取り組んでおります。合わせて、セクハラを起こさないための防止啓発も行っております。

残念ながら、教会においてセクハラに限らずパワハラ（パワー・ハラスメント）も起こることがあります。パワハラへの対応を求める声が教団内からもあがっております。セクハラとパワハラは重なり合うことが多く、包括的なハラスメント対策が必要であると考えられます。

委員会では、包括的なハラスメントの相談窓口設置について検討してきました。その中で、「指導とハラスメントの境目がわかりにくい」という声や「指導がハラスメントとされかねない」と萎縮して指導が行われなくなるのではないかと、という声があることを認識しております。

そうした疑問や不安の声にこたえるために「ハラスメントの境目」を9回シリーズで本誌で取り上げる予定です。具体例を挙げてハラスメントに当たる当たらないの境目を解説すること、ハラスメントに対する理解

が進み、判断の参考にしていただけるものと考えております。ハラスメントに対する理解が進むことで防止対策にもなる時期待しております。

委員会では、ハラスメントを「他者の人格の尊厳を侵害することであり、合理性や妥当性を欠いた不当な行為によって、不利益や身体的又は精神的苦痛を与えること」として定義できるものと現在考えております。ここにハラスメントの判断基準を示してあります。

ある行為について、その目的は正しいものか。手続きが必要な場合は、正しい手続きに則しているか。その行為の手段は目的に見合ったものか。不釣り合いな行為をしていないか。妥当な範囲を超えていないか。暴言や脅しや人格否定発言がないか。これらを踏まえて判断します。

ハラスメント問題の本質は人格尊厳問題です。互いの人格が尊重され、安心して集える教会でありたいものです。

(伊那聖書教会牧師)

教団ニュース

《教団総会》

公 告

宗教法人「ゼ・エバンゼリカル・アライアンス・ミッション（日本同盟基督教団）」規則第2章6節「総会」、「日本同盟基督教団」教憲第5条並びに同教規第1章「教団総会」に従い第70回教団総会を開催致します。教規第9条に基づき以下の通り公示いたします。

日程 2019年3月21日(木) 10時45分〜3月22日(金)17時まで
会場 国際ファッションセンター KFC Hall&Rooms (東京・両国)

議題
第1号議案 2018年度事業報告の件
第2号議案 2018年度決算報告の件

第3号議案 2019年度事業計画審議の件
第4号議案 2019年度予算審議の件
第5号議案 教規変更の件
第6号議案 教師試験規程変更の件
第7号議案 教師職務規程変更の件
第8号議案 「即位の礼・大嘗祭に関する声明」の件
第9号議案 教団総主事人事の件
第10号議案 教会の設立の件
第11号議案 教師の按手・准允・加入の件
第12号議案 次期教団総会議長、副議長選出の件
第13号議案 宗教法人責任役員選出の件
第14号議案 その他

以上、開催することを公告し、総会の招集をいたします。
日本同盟基督教団理事長 廣瀬 薫

《会 議》

◇理事会
1月7日(月) 教団事務所
2月4日(月) 教団事務所

教会と国家委員会

「戦う同盟基督教団」へ

の であらひるぶみ
野寺博文 (赤羽聖書教会)

「今日、牧師の権威は立つのか
立たぬのか? … 大衆と時代にへ
つらうか、神のことは通りに叫ぶ
のか?」(朱基徹牧師)

栄光在。委員会のご奉仕
に敬意を表します。「靖国問題委
員会」で奉仕した経験から何か提
言するよう依頼されました。何か
参考になればと思います。

私は何か靖国問題の専門家み
たいに思われていますが、実際に
委員として奉仕したのはわずか
二年です。再任されなかったから
です(事実上のクビと理解してい
ますよ)。在任中私が担当したの
は、理事会から委任されて「日の
丸・君が代」問題について総会の
議案に添付する資料を作ること
でした。「日の丸・君が代」強制
を「現代の神社参拝強制」と位置
づけ『日の丸・君が代』の偶像
化』について小論を書いたのです
が、理事会から物言いがついて日
の目を見ませんでした。「世の光」
に三回連載予定の「日の丸」問題
の記事も二回で打ち切られ、私
は委員を1期2年で再任されず
(2002年)、2年後「靖国問題
委員会」は名称が変更されて今の
「教会と国家」委員会」になりま

した。

以上の貧しい奉仕から学んだ
いくつかをお分かちします。まず、
人の労作を無断で連載打ち切り
にするようなことは良くありま
せん。委員会と理事会には適度な
緊張関係が必要だと思います。そ
れには、理事になる人物の見識が
問われると思いますし、同時に理
事会を説得する委員会の努力も
必要です。

「日の丸」問題に限らず、世の
問題について発言するにはよく
学ばなければなりません。少なく
とも世に出ていいる書物には一通
り目を通して、問題の本質がどこ
にあるのかを見極める努力が必
要です。目まぐるしく激動する現
実、確固たるものの何も無い中で
「預言」するのでありますが、どう発言
しても叩かれます。そんな中、委
員会の大切な役割は基本的な資
料を作って情報提供をすること
です。実際に世で戦うのは信徒一
人一人ですが、教会は聖書と神学
から独自の見解を発信して戦う
信徒を応援します。教会が沈黙す
れば、怪しいネットやマスコミの
情報しかありません。教会が無知
無関心で見えて見ぬふりするなら、

意識ある信徒は失望します。同じ
教会でもカトリックは教会の正
式な見解を積極的に「預言」して
います。私が「日の丸」論文を書
いた時、教会関係者の書いた参考
にできる資料はほとんどありま
せんでした。参考にするのは教会
以外の著作ばかりです。教会がい
かに「預言」していないかとい
うことでしょうか。ですから、委員
会がしっかりと書けば、それが確
実に他教団への参考書になり後
世への資料になります。戦いの記
録にもなります。先の私の論文は、
理事会には葬られましたがおか
げで箔が付き(？)、私は他教団
の教職セミナーに招かれたり、論
文は韓国の神学雑誌や東京基督
神学校の紀要*が掲載してくれ
たりしました。委員会にはこのよ
うな基本的な資料となる論文を
次々出してもらいたいです。昨今
は平和集会にたくさん集まるよ
うになりました。外部から講師を
招くのもいいですが、委員一人一
人が自分で学んで話すのも良
いと思います。それを本にして委
員会で出版すれば、この世に向け
ての「預言」にもなります。同盟
基督教団のように簡易信条の教

団は、教会が平和問題に関わるこ
との神学的な意義づけから始め
なければならぬので骨が折れ
ると思いますが、よろしくお願
いします。

私たち教団の罪責告白をした
『横浜宣言』(1996年)以来、
目覚ましい宣言がないのも気に
なります。毎年新たに告白文を
作って総会に提案するようにし
たらどうでしょう。総会決議が難
しいのはわかりますが、たとえ
きなくても総会で議論すれば諸
教会への啓発になります。総会決
議した宣言文は教団の内外それ
ぞれに威力を発揮します。

最後に、宣教会の他に、平和
問題を真剣に議論する大会議を
開催するのはどうでしょうか。前
代未聞ですが、実現すれば教団も
変わります。教団に所属する良識
ある学者、主婦、労働者、学生、
役人、政治家、法律家、牧師が集
まって主のために知恵を出し合
えば、何か新たな実を生み出せる
のではないかと思います。混乱し
て終わるかも知れませんが。

* 野寺博文「日の丸・君が代」問題に
関する一考察」『基督神学』東京基督
学校、2006年

NSDII報告

青年部部員 さの やすみち 佐野泰道

震ヶ関キリスト教会牧師

11月22日(木)から24日(土)、JEA青年委員会の主催で「NSDII(第2回日本青年伝道会議)」が開催されました。参加登録者は570名を超え、北海道から沖縄、海外から参加した人もいました。

「青年宣教サミット」では、これからの青年宣教を共に考えました。発題者のひとりであった西村敬憲師(西大寺キリスト教会)から、青年宣教を教会や教団の中心的な働きにすることの重要性が語られました。各教団教派の教職者、超教派団体のスタッフの他、社会人・大学生・高校生の参加もありました。「青年大会」は「神の国マインドに生きる」というテーマのもと、3回行われました。青年大会1では、山本陽一郎師(多治見中央キリスト教会)が「神の国の宣教くシャイン、ジーザス社員」と題して語ってくださいました。またオプショナルタイムの中ではネット番組「What The Pastors!!」の特別収録もあり、朝岡勝師(徳丸町キリスト教会)と大嶋重徳師(KGK総主事)のトークもありま

した。

3日目の「世代別の集会」では、社会人と大学生と中学生に分かれ、3つの会場で集会和交わりを持ちました。

今回のNSDIIの特徴として、2つのことをあげたいと思います。

- ① 社会人の参加者が200名を超えました。社会で働く青年たちが、自分に向けて語られることばと、課題や恵みを語ることでできる交わりの場を必要としているとわかりました。
- ② 青年宣教をする上で超教派団体の働きは欠かせません。NSDIIが祝福された背後には、ハイビーエーやKGG、CCCなどの団体が高校生・大学生たちに関わり、教会に仕えてくださった働きがありました。



恵流

「祈禱会へ再び」

恋が窪キリスト教会教会員

しみずあきこ 清水明子

昨年夏、私は25年ぶりに教会の祈禱会に出席しました。礼拝には出席するけれど祈禱会には出ない人と思われていたので、柿島先生はじめその場の方々を大いに驚かせてしまいました。

そんな私ですが20代の頃は祈禱会の常連でした。当時の祈禱会での恵みをひとつ挙げるならば、それは旧約聖書の学びです。丹羽喬先生はギリシャ語が専門で新約のお話し(パウロの説教の講解は忘れられません)が多くなりがちなこと、旧約を学ぶ機会を提供したいとの先生ご自身の方針により祈禱会では旧約を読み進めていました。出エジプト記を読んでいた時、

実習神学生の方が聖書の記述に基づいて幕屋の再現図を描き見せてくださったことがあります。私は幕屋の建材や寸法の羅列の意義がわからず困惑してい

ましたが、その図を通して聖書を忠実に読む姿勢を教えられました。共に集っていた方々を懐かしく思い出します。仕事帰りに夫と共に祈禱会に向かっていた時期もありますが、諸事に追われてやむなく祈禱会から遠ざかっていました。

昨年夏以来、継続出席には程遠いのですが何とか祈禱会に繋がっていかうと努めています。教会の課題を共有し兄弟姉妹と互いのために祈るのは何と幸いなことでしょう。恋が窪キリスト教会の、また自分自身の祈禱課題は25年を経て大きく変わりましたが、神さまの真実は変わりません。たくさんの恵みに感動を覚えます。

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。」

—テサロニケ5章16〜18節

困難や試練をも感謝して受け止めるのは易しいことではないと思います。祈りつつ歩んでいきたいと願っています。

教会支援部

「静まり」を通して知る主の愛

町田南キリスト教会
牧師 池田雄一

10月28日(日)、町田南キリスト教会の修養会講師として、同盟基督教団支援教師の高橋伸多先生をお招きしました。

修養会に先立って当日午前の礼拝では、ルカ10章38〜42節より「必要なことはわずか」と題して語っていただきました。

午後は「静まり」の時をもちました。

1. 今、私はどのような思い煩いにとらわれがちだろうか。
2. 今、私にとって「無くてならぬもの」とは何だろうか。
3. その「無くてならぬもの」を軸として生活するとは具体的にどうということだろうか。出席者が3つの問いに一人で向き合

い思いめぐらせた後、二人組で、また全体でも分かち合いました。それぞれ教えられたことがありました。私にも思い煩いがあることを認めずにはいられませんでした。そして、その思い煩いを分かち合う仲間が必要だと気づかされました。

修養会のテーマは「静まって主の御声を聞く」でしたが、自分の心の声を聞くことを通して、主が私をどう見ておられるのかを知る、というアプローチが示されました。それが新鮮でした。主が私の心の叫びを受け留めてくださっていること、主が一人一人を愛されたいことを確かめました。

「静まり」は1回限りでなく、時々日常生活を離れてでも実行するのを感じます。今後の歩みに取り入れていきたいと思

います。福井から来られ私たちを導いてくださった高橋先生、ありがとうございました。教会支援・教師派遣制度を利用してこのように恵みに与りました。教会支援部のお働きにも感謝いたします。

2019 MATSUBARAKO BIBLE CAMP SCHEDULE

【2019年テーマ】神のことは決して滅びない。マタイ24:35



春季キャンプ

- スタッフトレーニングキャンプ・・・3月25日(月)～27日(水)
- 春の小学・中高キャンプ・・・3月27日(水)～30日(土)
- ファミリーキャンプ・・・4月27日(土)～29日(月)

夏季キャンプ

- 小学ショートベース・・・7月25日(木)～27日(土)
- 中学高校ベース・・・7月27日(土)～31日(水)
- 第1小学ベース・・・7月31日(水)～8月3日(土)
- 第2小学ベース・・・8月5日(月)～8日(木)
- 松原湖聖会・・・8月9日(金)～12日(月)
- 中学高校アウト・・・7月27日(土)～31日(水)
- 第1小学アウト・・・7月31日(水)～8月3日(土)
- 第2小学アウト・・・8月5日(月)～8日(木)
- 青年アウト(大学生以上)・・・8月9日(金)～13日(火)
- 八ヶ岳縦走・・・8月9日(金)～13日(火)

★キャンプ場をご利用ください【修養会、セミナー、静まりなど】
※空き状況は、お電話にてご確認ください。

松原湖バイブルキャンプ

〒384-1103 長野県南佐久郡小海町豊里4912
TEL.0267-93-2347 FAX.0267-93-2475



キャンプ情報はホームページをご覧ください → <http://matsubarako.com> E-mail: info@matsubarako.com

日本同盟基督教団青年宣教大会 フロンティア 2019

CONNECTED

~きつとつながる You and Me~

フロンティア 2019「Connected」つながるために

フロンティア 2019 副実行委員長 増井恵

今年はフロンティア 2019 の年です！ぜひ覚えていただきたいと思います。

1. なぜ（何のために）フロンティア 2019 を開催するのか？

一言で言えば「教会を応援したい」からです。同盟基督教団の教会は 80%で教会学校が続けられており、青年たちが大切に育てられています。ですから、フロンティアを通して青年たちの必要に応え、青年たちを励まし、教会を応援したいのです。

2. フロンティアに参加することで、青年たちのどんな必要が満たされるのか？

①神さまにさらにコネクト（つながることが）できます

集中的に神さまの声に聴く 4 日間は、忙しい青年たちにとって素晴らしい機会。テーマ聖句「わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます。」（ヨハネの福音書 15 章 5 節）にあるように、神さまに結ばれた（Connected）恵みに目が開かれ、信仰の成長や生き方へのチャレンジが与えられます。

②信仰のネットワークにコネクトできます

キャッチフレーズ「きつとつながる You and Me」。教会を超えて、同世代の信仰の仲間とつながることができます。信仰の仲間とのつながりは、長い信仰の旅路の重要な要素です。もしかしたら一生を決める素敵な出会いがあるかも！

③青年たちの関心や必要にコネクトできます

恋愛や結婚、仕事や社会との関わりなど、教会では具体的に取り扱いづらい、多様な必要に応える分科会があります。同じ関心や重荷を持つ仲間たちとつながるチャンスになります。

3. どうやってこの大会を応援できるのか？

①ぜひ大会の祝福を祈ってください。

祈りは力です。神様の祝福に満ちた大会となるように。みんなで心を合わせて祈っていただけたら嬉しいです。

②青年たちを励まして送ってください。

教会だけでなく、宣教区などで励まし、仲間を募って参加すれば、その後のつながりにもなるでしょう。

③献金にご協力ください。

大会には多くの必要があります。個人で、教会で、企業で、フロンティア 2019 をサポートいただけたら感謝です。

フロンティア 2019 は青年が元気になる大会です。青年がさらに元気になれば、教会も元気になる！

フロンティア 2019、よろしく願いいたします！

（いわきキリスト教会牧師）

日時：2019年8月13-16日（火-金）
場所：国立オリンピック記念青少年総合センター
ホームページで随時情報更新中！
<https://www.frontier2019.com/>



東京基督教大学の紹介

地の塩シリーズ紹介

山口陽一先生が担当執筆くださいました。



「東京基督教大学 (TCU) の大学改革について」紹介

学長 山口陽一

いつもTCUのためにお祈りとご支援をいただき心より感謝申し上げます。今年度よりTCUの学長となり、以前から継続している大学改革を進めております。

○創立 30 周年を前に

TCU は 2020 年度に創立 30 周年を迎えます。廣瀬薫理事長と小林高德前学長により 2015 年度からスタートした大学改革は、「第一次神の国に仕えるプロジェクト」(略称「神プロ」)と称されることとなり、4 年目の今年まで教員職員協働の 7 チームで検討を重ねています。目標は教育の向上・学生増・収支均衡です(写真①学生支援を語る)。2017 年 6 月 30 日に大学改革のコンセプトを「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」と決めました(写真②シオン祭ゲストのナイト・デ・ライト)。内容は、養成すべき人間像・ポリシー・学生募集、寄付金募集、収支考察・IR(大学経営を支える調査・分析)、キャンパス整備、組織改編・学生支援、資金運用、理事会の機能向上と多岐に及びます。

○学科再編を検討

1990 年に神学科と国際キリスト教学科の 2 学科で教職と信徒の献身者教育をスタートさせた TCU は、2001 年に英語で科目を提供して学位を出すアジア神学コース(ACTS-ES)、2008 年に介護福祉士養成課程を設置し、グローバル化とディアコニアを意識した神学教育をしてきました(写真③女子学生)。さらに東京基督神学校を統合して 2010 年に教会教職課程、2011 年に教会音楽専攻科、2012 年に大学院修士課程、2014 年に博士課程を設置して教育内容の充実を図ってきました(写真④男子学生)。これまでを感謝して振り返り、将来のために全体を見直しています。

大学創立にあたり、従来の神学校で行っていた教会教職者育成に信徒奉仕者の育成を加えました。神の国の宣教に牧師と信徒で仕えるために信徒の献身者の育成が大切であると考えたのです。また牧師をはじめとする教会教職者は、国際性や福祉の心をもって信徒と協働できることをめざしています。こうした理念を生かす神学部が目標です。

○教員免許課程(宗教)を検討

2018 年度事業計画の最重点項目は、「コンセプトの理解と共有・教育と学生支援の改革立案と実行、教員免許課程(宗教)準備・資金の収支の改善に向けた施策の立案と実行」です。これに基づいて教員免許課程(宗教)設置を含めた検討をしています。キリスト教主義学校の教員のチームに加わり、今の若者にキリスト教教育を提供できる宗教科教員は大いに求められています。福音主義の神学教育機関としてこれに挑戦できるのは今のところ TCU だけであることを自覚し、内容や時期などを慎重に検討しています。

○変わらないもの、変えるもの

クリスチャンコードや献身者教育、教会教職課程や介護福祉士養成課程、寮教育、英語のみで学位が取れることなどは変わりません。ますます伸ばし定員増をめざします。その上で、変えるべきことは変えてゆきます。神学校と大学の両面をもった神学大学として、日本における既存の神学校、神学部・大学院のどれとも違う神学部・大学院をめざし、日本における神学のイメージと役割を刷新しつつ世界宣教に貢献したいと思います(写真⑤シオン祭での留学生たち)。

また、建学の精神と信仰基準はそのままに、支援団体の拡大と学生募集の幅を広げ、日本の 8000 の教会、とりわけ 7000 のプロテスタント教会、世界の協定校や教会から学生を迎え、継続教育においてもアジアの神学教育の一拠点となることをめざします。これにより本学を長く維持・発展させてゆくことを図ります(写真⑥チャペル)。

多くの課題がありますが、教会の祈りとささげものによる資産を生かし、着実に大学改革を進めて参りたいと願っています。ご加禱とご支援をお願いいたします。

地の塩

日本同盟基督教団

⑥チャペル



②シオン祭ゲストの
ナイト・デ・ライト



④男子学生



③女子学生



⑤シオン祭での
留学生たち



東京基督教大学の紹介